

# 昭栄産業がSTF開催



長岡支店外観

## 長岡支店、新社屋披露



会場内の様子

機械・工具の専門商社である昭栄産業(平澤利明社長)は11月8日から2日間、長岡支店(新潟県長岡市)で「第39回STF昭栄テクニカルフェア」を開催した。

昨年12月に完成した長岡支店新社屋のお披露目も兼ねた記念回としての開催。も

のづくり現場での働き方改革をテーマに掲げて工作機械、CAD・CAM、工具、測定機器などのメーカー8社が

出品し、来場者は175社・334人だった。会場では、多段パレットシステムを搭載したヤマザキマザックの同時5軸立形マシニングセンターのほか、ZOLLERのツールプリセッター、5軸MC向けのワークグリッパ(北川鉄工所)、5軸・複合加工機むけの干涉チェックソフト(Aiリユーシヨンス)など5軸加工機をメインに据えた生産性向上の提案に注目が集まった。同社では「景気が下を向き始めている時だからこそ、地域のユーザーに活力を見せて売っていくことが必要だ」と話し、地域のモノづくり活性化推進の意気を見せた。

Heat Media  
日本物流新聞

THE NIHON BUTSURYU SHINBUN

2019年 11月 25日

No.1445号

(10日・25日の月2回発行)